様式１

観光地域づくり法人形成･確立計画

記入日：令和７年７月３１日

１．観光地域づくり法人の組織

申請区分 ※該当するものを〇で囲むこと	広域連携ＤＭＯ･地域連携ＤＭＯ･地域ＤＭＯ	
観光地域づくり法人の名称	（一社）ななお・なかのとＤＭＯ	
マネジメント・マーケティング対象とする区域	区域を構成する地方公共団体名 七尾市、中能登町	
所在地	石川県七尾市	
設立時期	平成２９年１１月２８日「(一社）ななお・なかのとＤＭＯ」設立	
事業年度	４月１日から翌年３月３１日までの１年間	
職員数	８人【常勤８人（正職員５人・臨時職員３人)】	
代表者（トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者）※必ず記入すること	（氏名） 理事長　谷﨑　裕 （出身組織名） 和倉温泉旅館協同組合	ＤＭＯ設立時から副理事長として地域の様々なパイプ役となり、長年にわたり本市の観光及び経済に寄与し、当エリア外を含めた観光振興の牽引役として活躍。（令和２年６月より現職） 七尾市産業賞受賞。（令和４年１１月３日受賞）
データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者（ＣＭＯ：チーフ・マーケティング・オフィサー ※必ず記入すること	（氏名） 遠藤　敦「専従」 （出身組織名） 七尾市	平成２８年度より七尾市観光交流課に勤務し、ＤＭＯ設立に携わる。地域観光の推進及び観光拠点施設（和倉温泉お祭り会館）を整備し、観光地域づくりを推進している。令和２年度よりＤＭＯへ派遣。令和４年度より正規職員となる。 現専務理事兼事務局長
財務責任者（ＣＦＯ：チーフ・フィナンシャル・オフィサー） ※必ず記入すること	（氏名） 土井　昭美「専従」 （出身組織名） 七尾税務署	七尾税務署非常勤職員として１７年間勤務。 持続可能な運営のため、運営収支や財源確保に関する業務を担当。 観光案内所の運営及び各種事業会計も担当している。
プロモーションの責任者（専門人材） ※各部門責任者のうち専従の者については、氏名の右横に「専従」と記入すること	（氏名） 吉水　紀章「専従」 （出身組織名） ワールドビジネスセンター㈱	システムの総合サービス提供会社に勤務していた経験を活かし、ＷＥＢ・ＳＮＳ・動画などを活用した情報発信業務を行い、各種団体と連携を図りながら、プロモーションを担当。

様式１

旅行商品の造成･販売の責任者（専門人材）	（氏名） 吉水　紀章「専従」 （出身組織名） ワールドビジネスセンター㈱	石川県と連携したプロモーション活動やＡＧＴ担当として、各種旅行商品の造成や商談会などにおいて、旅行商品の造成・ＰＲ活動を担当
インバウンド誘客の責任者（専門人材）	（氏名） 丸野　敬 （出身組織名） リージョナルリング株式会社	ＤＭＯ体制整備事業による外部専門人材の登用 インバウンドの状況把握・分析を行い、ターゲット層の見直しを行い、国別の観光嗜好・選考される観光コンテンツのブラッシュアップやマーケティングを活用した戦略の素案を策定。
連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	【七尾市】 ・交流推進課（観光交流施策、観光情報の提供、能登空港利用助成、合宿、修学旅行、祭り・イベント運営支援、観光統計、観光施設管理） ・産業振興課（産業振興、移住定住、雇用の創出、商工業の振興、創業支援、伝統工芸産業の振興、企業誘致、港湾の利用促進） ・農林水産課（農業・畜産・水産・林業振興、能登野菜、水産物ブランド化） ・都市建築課（社会資本整備、公園・緑地管理、景観形成、建築指導） ・企画政策課（総合計画、総合戦略、地方公共交通、ふるさと納税） ・防災交通課（防災に係る政策、交通安全・防犯） ・スポーツ・文化課（歴史・文化考証、文化施設管理、文化財の保存活用） 【中能登町】 ・企画情報課（長期計画・統計調査、定住促進、地域公共交通、町祭（イベント）、商工振興、特産品開発、観光振興業務、観光施設管理） ・農林課　　（農業・畜産・水産・林業の振興、有害鳥獣駆除） ・土木建設課（町営住宅、分譲宅地の造成、景観形成の推進） ・総務課　　（消防防災、交通安全・防犯、公園等施設管理、町有バス運行） ・生涯学習課（歴史・文化考証、国際交流、文化財の保護） 【石川県】 ・文化観光スポーツ部　観光戦略課 （観光戦略・企画立案、観光誘客イベント、温泉地活性化、観光人材育成） ・文化観光スポーツ部　文化振興課 （文化に関する企画調整、文化財の保護、文化関係団体の支援・育成等） ・文化観光スポーツ部　国際観光課 （国際観光施策全般、海外誘客促進、外国人の受入体制、通訳案内士等） ・文化観光スポーツ部　国際交流課 （国際交流の総合的企画・調整、国際交流・協力事業） ・教育委員会文化財課(文化遺産活用推進室) （歴史・文化考証、ユネスコ無形文化遺産、日本遺産）	
連携する事業者名及び役割	１．着地型旅行商品 ・和倉温泉観光協会 ・能登島観光協会（修学・教育旅行受入） ・中能登町観光協会 ・（一社）中能登スローツーリズム協議会	

	２．宿泊施設 ・和倉温泉旅館協同組合 ・能登島旅館民宿飲食店組合 ・ハートランドヒルズ in 能登@いおり ・ホテル　アリヴィオ ・ホテルルートイン七尾駅東 ・都忘れ七尾湾リゾート能登小牧台 ・おり姫の宿　くつろぎ ・古民家の宿　えにし屋 ・古民家民宿　喜屋 ・古民家ゲストハウス　結舎 ・一棟貸しの宿　大呑ビレッジ遊心庵 ３．広域観光連携 ・公益社団法人石川県観光連盟 ・（一社）能登半島広域観光協会 ・飛越能経済観光都市懇談会 ・ユネスコ５大祭連携ＰＲ部会 ・（一社）昇龍道ドラゴンルート推進協議会 ４．持続可能な観光連携 ・能登ＤＭＣ合同会社 ５．商環境改善、産業観光（物産開発） ・七尾商工会議所 ・能登鹿北商工会 ・中能登町商工会 ・能登繊維振興協会（能登テキスタイル・ラボ） ６．観光ボランティアガイド ・ボランティアガイドはろうななお ・能登國　石動山を護る会 ・不動滝を護る会 ・雨の宮を護る会 ・碁石ケ峰を護る会 ・歴史ボランティアガイド「いするぎ夢案内」 ７．飲食・物産・商店関係 ・七尾特産品協会 ・和倉温泉商店連盟 ・一本杉通り商店街 ・東部商店街 ・中央通り商店街 ・リボン通り商店街 ・株式会社　能登風土 ・農家レストラン　太郎右衛門 ・農家レストラン　まる ・信寿し、貴寿司、大将寿し、千代ずし、松乃鮨、ちゃか寿し、寿しー ・お食事処　おおのみんな ８．演劇・歴史・祭文化 ・（公財）演劇のまち振興事業団 ・（公財）七尾城址文化事業団（七尾城史資料館・懐古館・飯田家） ・石動山資料館

	・雨の宮能登王墓の館 ・能登の國・七尾城プロジェクト実行委員会 ・青柏祭でか山保存会（ユネスコ無形文化遺産） ・能登島向田町火祭り実行委員会（県指定無形民俗文化財） ・石崎奉燈祭奉賛会（日本遺産） ・日本遺産「灯り舞う半島　能登　～熱狂のキリコ祭り～」活性化協議会 ・久麻加夫都阿良加志比古神社氏子総代（国指定重要無形民俗文化財） ・山の寺道交会（山の寺寺院群） ・七尾まだら保存会 ・のと里山里海ミュージアム（里山里海の魅力伝承） ・鵜様道中の宿（鵜祭／国重要無形民俗文化財） ・花嫁のれん館（婚礼文化／（一社）七尾家） ・能登上布振興協議会（能登上布の歴史・体験観光） ・能登國二之宮　天日陰比咩神社（どぶろく製造） ・万葉の島、机島磨き上げプロジェクト実行委員会 ９．食文化 ・ＪＡ能登わかば ・石川県鮨商生活衛生同業組合 ・七尾菓子業組合 ・能登ふぐ事業協同組合 ・中能登町料理飲食組合 ・農事組合法人　能登やまびこ ・七尾特産品協会 10. 地域交通・アクティビティ ・西日本旅客鉄道株式会社金沢支社（１次・２次交通） ・のと鉄道株式会社（２次・３次交通） ・北鉄能登バス株式会社（２次・３次交通） ・石川県バス協会、石川県タクシー協会（３次交通） ・加越能バス株式会社（２次・３次交通） ・高岡和倉間高速バス路線維持対策協議会（わくライナー［高岡・氷見・七尾］） ・能登島交通株式会社（２次・３次交通） ・石川交通株式会社七尾営業所（２次交通） ・株式会社　石和タクシー（２次交通） ・株式会社　丸一観光（２次交通） ・株式会社　大蔵（２次・３次交通） ・株式会社　ＤＯＫＫＡ（超小型ＥＶ） ・小牧ボートパーク（マリンアクティビティ） ・株式会社ひかりや（マリンアクティビティ） ・café 遊帆（セーリング関連） ・Dolphin Smile（イルカウォッチング） 11. 観光施設、美術館 ・香島津［道の駅　能登食祭市場］（観光物産施設） ・七尾フラワーパークのと蘭ノ国 ・和倉昭和博物館とおもちゃ館 ・石川県七尾美術館 ・のとじま臨海公園水族館 ・能登島ガラス工房 ・道の駅のとじま（のとじま交流市場）

	・石川県能登島ガラス美術館 ・ひょっこり温泉　島の湯 ・道の駅「織姫の里なかのと」 12. 金融 ・七尾市銀行会
官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み	【該当する登録要件】①② （概要） ななお・なかのとＤＭＯでは、法人としての重要な事案については「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」に基づき、総会（年１回程度）及び理事会（年４回程度）において、意思決定を行っている。理事会は、七尾市・中能登町に存在する３つの観光協会や商工会議所・商工会・広域観光協会・宿泊業・地方公共団体のコアメンバーで構成され、会員についても同様に多様な関係者が参画し、地域の意見を集約している。 また、ななお・なかのとＤＭＯとしては、背景となるマジョリティは主に「観光と商工に関わる地域の方々」と考えており、これまで、多様な関係者を巻き込みながら、第一次ななお・なかのと観光振興プランを軸に各種事業に取り組んでいる。 令和６年度においては、能登半島地震の影響により能登半島全体が壊滅的な被害を受け、観光地としての機能が失われてしまったが、多様な関係者と連絡を密にしながら短期の戦略を重点に、観光できる地域・エリアの情報発信を行った。
地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組	不定期ではあるが、自治体の広報誌及び新聞への掲載を依頼し、ＤＭＯの活動を紹介。 各事業の取り組みについても関係者（地域団体等含む）及び地域の方々の協力を得ながら参画していただき、事業に取り組んでいる。 しかしながら令和６年度においては、能登半島地震からインフラの復旧、公費解体、応急仮設住宅・仮設商店街の整備、一部宿泊施設の営業再開、護岸復旧工事などが進む中、被災地「能登」を忘れてもらわないために多様な関係者などが主催する観光の魅力づくりを目的としたイベントなどへの連携や協力を行い、震災学習プログラムの開発及び復興ツーリズムの造成を実施した。 ・令和６年度（一社）ななお・なかのとＤＭＯ事業報告会（地震により中止） ・第２次ななお・なかのと観光振興プラン策定業務 関係者とのヒアリング　計６回実施 ※震災からの短期戦略を含む

様式１

<table>
<tr><td rowspan="3">法人のこれまでの
活動実績</td><td colspan="2">【活動の概要】</td></tr>
<tr><td>事業</td><td>実施概要</td></tr>
<tr><td>情報発信・
プロモーション</td><td>【2024 年度（令和６年度）事業】
具体事業内容
・各種パンフレットの増刷
・県と連携した旅行商品プロモーション会議参加
・ラッピングバスの導入（いまこそ能登力！）
・能登広域的観光振興を目的とした観光ＰＲポスター制作
・能登物産展出展
・埼玉県行田市田んぼアート協力（能登物産展）
・第３回日本観光ショーケース in 大阪・関西
・ツーリズム EXPO ジャパン 2024　東京
・北陸ＤＣオープニングイベント(加賀温泉駅)
・ご当地キャラ博 2024(滋賀県彦根市)
・第 31 回全国山城サミット参加(島根県益田市)
・第 19 回国内観光活性化フォーラム in 東京
・飛越能まるごと体感フェア(東京)
・北陸観光ＰＲ会議(東京都)
・いしかわ旅行商品プロモーション会議
・関西圏北陸地区観光商談会(大阪)
・電子雑誌「旅色 FO-CAL 七尾」web 記事
・孤独のグルメ 2024 大晦日スペシャル(TV 番組)
・JNTO 公式ウェブマガジン・公式 SNS(web 媒体)
・Press Walker(七尾牡蠣紹介)　web 媒体
・KBS 京都・BS11 共同制作「桜と明宝を訪ねて」(TV 番組)
・NHK BS CoolJapan 出張 in 能登半島(TV 番組)
・東京八重洲いしかわテラスタッチサイネージ
・各種広告の掲載、web・SNS 記事広告　など</td></tr>
<tr><td>受入環境の
整備</td><td>【毎年度】
・ＪＲ七尾・和倉温泉駅内観光案内所運営
（能登半島地震の影響により 10 月 1 日より再開）
・ボランティアガイドとの相互協力・支援
【2024 年度（令和 6 年度）事業】
[観光庁]
・地域周遊・長期滞在促進のための専門家派遣事業
・世界に誇る観光地を形成するためのＤＭＯ体制整備事業</td></tr>
</table>

様式１

	観光資源の磨き上げ	【2024 年度（令和 6 年度）事業】 ［観光庁］ ・地域観光新発見事業（連携する事業者） ［JNTO］ ・能登半島地震等からの復興と歩調を合わせた情報発信事業 ［石川県（県観光連盟）］ ・いしかわ文化観光コンテンツ造成支援事業 ・震災学習プログラムの開発及び造成 ［ＤＭＯ単独等］ ・着地型旅行商品の提案及び造成 ・「能登ふるさと博」市町等実施事業 ・和倉温泉観光誘客支援事業 ・能登島観光協会運営事業 ・震災復興（ホープ）ツーリズムの開発及び造成

【定量的な評価】

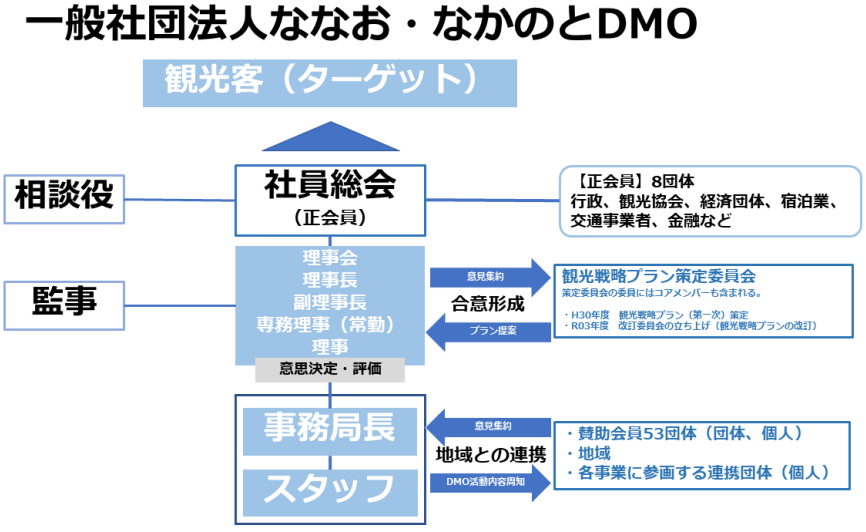
	Ｒ２年度	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度	Ｒ６年度
決算額（千円）（収益）	41,056	23,256	8,951	3,021	751
会員数	58	69	79	78	78
正会員	14	14	14	14	14
賛助会員	44	55	65	64	64

実施体制
※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること（別添可）。

【実施体制の概要】

（一社）ななお・なかのと DMO の理事会は、行政（七尾市・中能登町）、観光団体、宿泊業者、飲食業者、経済団体がコアメンバーとなっており、意思決定を行っている。その他に交通事業者、文化財関係者、商工業・経済界、農林水産業、地域で活躍している団体など多様な関係者を会員とし、意見を集約し活動に反映させている。これらの多様な関係者が DMO 事業に参画し、官民が密接に連携した観光地域づくりに取り組んでいる。

【実施体制図】



様式１

２．観光地域づくり法人がマネジメント・マーケティングする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】

【区域設定の考え方】

①いにしえの伝説・伝統と演劇文化エリア

お熊甲祭（国指定重要無形民俗文化財）や俳優「仲代達矢」氏のアドバイスをうけた日本を代表する演劇専用ホール「能登演劇堂」を始め、万葉集の編者として知られる「大伴家持」が訪れた地である。三百有余年の歴史を誇る田鶴浜建具もあり、格調高く歴史あるエリアである。

また、環境に配慮したバードウォッチングを楽しむことができる田鶴浜野鳥公園、冬の味覚として有名な日本海随一の生産量を誇る能登牡蠣がある。

②教育滞在アイランドエリア

四方を海に囲まれ、山海の幸に富み、風光明媚な景勝地である。（能登半島国定公園）

水族館・海水浴場・キャンプ場・温泉・ゴルフ場などのレジャー施設も多く、石川県で最も長い橋である「能登島大橋」や「ツインブリッジのと」の２つの橋がかかり、交通の便が向上することにより、来訪客は多くなっている。教育旅行及びスポーツ合宿を推進し、交流人口拡大を図っているエリアである。

③渚の温泉おもてなしエリア
　能登の拠点となる和倉温泉は、開湯１２００年余の歴史を誇り、お湯はもとより海の幸がたっぷり味わえる温泉地であり、温泉旅情を満喫できるエリアである。合宿拠点施設も整備され、能登島(②エリア)と連携をとりながら、長期滞在型の観光交流を図り、スポーツ合宿の拠点ともなっている。

④祭りと産業・食の王国エリア
　１１万人超を集めるユネスコ無形文化遺産「青柏祭」や「モントレージャズフェスティバル in 能登」など多種多様のイベントが開催され、古来より、北前船寄港地として発展してきた七尾市街地はＤＭＯ管轄エリアの中でも人口集積が高い「街の魅力」を持つエリアである。七尾仏壇や和ろうそくの伝統産業をはじめ、桃山時代に活躍した日本を代表する画家である「長谷川等伯」の生誕地として知られ、七尾美術館や花嫁のれん館などの芸術・文化を味わえるエリアである。また、天然の生贄「七尾湾」でとれる旬な魚介を使った寿司は絶品であり、「寿司王国七尾」として、クオリティを誇るとともに、「くちこ」「このわた」などの珍味もこのエリアならではの名産となっている。

⑤生活文化と歴史資源エリア
　能登国分寺跡附建物群跡(国指定史跡)、日本五大山城に数えられる七尾城址(国指定史跡)、前田利家の出世城として知られる小丸山城址公園や山の寺寺院群など数多くの歴史を物語る古墳や遺跡などが七尾市内に点在している。また、中能登町には、全国の石動山信仰の中心地であり、信仰の山として栄えた国指定史跡「石動山」が存在し、一帯は里山文化とともに歴史資源が時代を重ねて息づいている。中能登町では北陸最大規模の古墳群が集積しており、４世紀後半から５世紀初頭にかけて造営された様々な古墳群を見ることができる。特に宮内庁直轄の小田中親王塚古墳は、平家物語にも表記されているとともに国指定史跡の雨の宮古墳群をはじめ確認されただけでも５４０基の古墳を有しており、古墳の歴史を学ぶには最適な場所ともいえる。加えて、古くから能登上布(県指定無形文化財)や現在も続く繊維産業などの生活文化に根差した伝統産業も存在している。また、古来より往来が盛んであった表街道の東街道筋と西街道筋の東西の能登街道に、日本最古のおにぎりの化石(学術的には、チマキ状炭化米塊)が発見され、その事実を活かして、道の駅などで古代米のおにぎりが味わえるようにしている。３つの神社で江戸時代から受け継がれる「どぶろく」の醸造が行われていることから「どぶろく」特区にも認定されており、農家レストランや農家民宿で「どぶろく」を楽しむことができ、「どぶろく」同様に発酵食文化を活かした「かぶら寿司」や里山料理「いのしし鍋」など地元食との組み合わせも味わえる。更には、東西の能登街道沿いにおいて「オケラ餅神事」・「三番叟」・「鎌打ち神事」・「鵜祭り」・「ばっこ祭り」・「あだけ祭り」・「星祭り」などの伝統神事(奇祭)が今なお受け継がれている。人間が生きていく上で、必要な「衣・食・住」の文化が東西の能登街道を中心に創出されている。

【観光客の実態等】
　平成２７年３月の北陸新幹線金沢開業から 10 年経過する中、金沢開業以来、北陸新幹線利用者は増加傾向となっているが、当エリアでの新幹線効果の恩恵は一段落している状況の中、令和６年１月１日、能登地域などに甚大な被害をおよぼした能登半島地震により、観光需要は一気に減少し、能登半島は観光地としての機能を失ってしまった。
　これらのことから、令和６年度の観光入込客数については、能登半島地震の影響からの統計数値となるが、２，７７３千人となり、昨年度と比較すると１，７１８千人の減少となる。
　喜ばしいことは、発災から４カ月で、のと鉄道(七尾―穴水間)が全線運行を再開し、人気の観光スポットである「のとじま水族館」も営業を再開し、年度末に完全再開することができた。
　加えて観光列車「花嫁のれん」の運行再開や「のと鉄道」の語り部列車も運行を開始し、震災からの新しい観光コンテンツも誕生した。
　このような状況の中、当エリアに観光客等が安心して訪れることができるよう継続して復旧・復興に努め、地域の多様な関係者と連携しながら、復興へと向けた観光の魅力向上と誘客に向けた観光コンテンツの造成及び各種プロモーション活動を展開していく必要がある。

観光入込客数の推移

〔七尾市〕　単位：人

区分／年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
宿泊施設(日帰り込)	538,705	540,521	737,327	627,918	
観光施設	1,504,175	1,525,482	2,079,900	1,663,156	
イベント	1,050	1,180	148,800	251,408	
七尾市　合　計	2,043,930	2,067,183	2,966,027	2,542,482	

※令和 5 年度：観光施設の入込については能登半島地震の影響により、未回答の施設あり

〔中能登町〕　単位：人

区分／年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
宿泊施設	6,968	5,521	8,653	9,124	
観光施設	187,317	201,944	236,157	219,917	
イベント	23,017	20,640	1,674	1,674	
中能登町　合　計	217,302	228,105	246,484	230,715	

〔総計（七尾市・中能登町)〕　単位：人

区分／年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
宿泊施設	545,673	546,042	745,980	637,042	
観光施設	1,691,492	1,727,426	2,316,057	1,883,073	
イベント	24,067	21,820	150,474	253,082	
総　　計	2,261,232	2,295,288	3,212,511	2,773,197	

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

＜七尾市＞

七尾市は石川県の北部、能登半島の中央に位置し、波穏やかな天然の良港として栄えてきた七尾港を海の玄関口とし、古代より能登の政治・経済・文化の中心地として発展してきた地である。

渚のいで湯として全国的に有名で、開湯 1200 年を迎えた「和倉温泉」や「のとじま臨海公園水族館」、「能登島ガラス美術館」、「ひょっこり温泉島の湯」など様々なリゾート施設を有する能登島などの観光資源、長い歴史に培われた、「田鶴浜建具」、「七尾仏壇」、「七尾和ろうそく」などの伝統工芸などの産業資源、豊かな自然や風土に育まれた「能登牡蠣」を始めとする新鮮な魚介類、「能登野菜」などの農林水産資源など、多くの地域・観光資源に恵まれており、先進国で初めて世界農業遺産に認定された「能登の里山里海」に代表される豊かな自然はもとより、ユネスコの無形文化遺産である「青柏祭の曳山行事」や日本遺産の「キリコ祭り」に代表される祭り等、伝統文化が色濃く残り、日本の原風景とも言える地域である。

また、「七尾まだら」、「七尾豊年太鼓」などの伝統芸能から「能登和倉万葉の里マラソン」などのスポーツ、「モントレージャズフェスティバル」などの音楽まで、多種多様なイベントが開催されている。

＜中能登町＞

中能登町は、能登半島のほぼ中央に位置し、南は羽咋市、西は志賀町、北は七尾市、東は富山県氷見市と接しており、邑知潟地溝帯を中心に平野部が七尾市から羽咋市まで拡がる。東側が国指定史跡の「石動山」、西側は「日本最古のおにぎり」が見つかった眉丈山をそれぞれ中心とし、田園を取り巻く丘陵地の緑、潤いのある河川や自然にも恵まれており、「雨の宮古墳群」、「川田古墳群」「杉谷チャノバタケ遺跡」など数多くの遺跡を残し、能登文化発祥の地として豊かな自然と文化遺産に恵まれている。また、産業では長い歴史を誇る「能登上布(県無形文化財)」が有名で、能登上布会館で織物の体験をすることができ、スポーツでは舗装されていない野山を走る「中能登トレジャートレイルラン」など多種多様なイベントが開催されている。

当エリアでは、歴史・文化・自然・伝統・食などの資源が多く、魅力ある観光資源を堪能することができる。

様式１

区　分	観　光　資　源
温泉	和倉温泉、和倉温泉総湯、ひょっこり温泉島の湯、 なかじま猿田彦温泉いやしの湯
商業施設	道の駅能登食祭市場、道の駅のとじま交流市場、道の駅織姫の里なかのと
美術館・博物館	石川県七尾美術館、石川県能登島ガラス美術館、和倉昭和博物館とおもちゃ館、のと里山里海ミュージアム、イソライト珪藻土記念館
キャンプ・ 海水浴場	家族旅行村 We ランド、マリンパーク海水浴場・松島オートキャンプ場・海水浴場、勝尾崎キャンプ場、鵜浦海水浴場、八ケ崎海水浴場、ハートランドヒルズ in 能登@いおり
自然・体験	ふれあいセンター山びこ荘、田鶴浜野鳥公園、赤蔵山憩いの森(御手洗池)、藤瀬の水、イルカウォッチング、海ほたる、のとじま水族館、能登島ガラス工房、能登上布会館、石動山ブナ林、碁石ケ峰、不動滝、ヨットセーリング、マリンアクティビティ（ＳＵＰ、カヤック）
文化・歴史	小丸山城址公園、国指定史跡七尾城跡、大地主神社、能登生國玉比古神社、鹿渡島観音、懐古館（飯田家)、座主家、明治の館（室木家)、大覚寺（北國八十八ケ所霊場)、山の寺寺院群（瞑想の道)、御便殿、七尾まだら、東嶺寺、田鶴浜建具、七尾仏壇、和ろうそく、一本杉通り、花嫁のれん館、七尾城址資料館、万行遺跡、能登国分寺展示館、須曽蝦夷穴古墳、中島お祭り資料館・伝承館、和倉温泉お祭り会館、能登演劇堂、雨の宮古墳群、石動山（大宮坊・旧観坊)、石動山資料館、古民家みおやの里、古民家旧丹後邸、ふるさと創修館、中能登町織物デザインセンター、能登テキスタイル・ラボ、鵜様道中の宿
スポーツ・合宿 拠点施設	七尾コロサスキー場、和倉ゴルフ倶楽部、能登島ゴルフ＆カントリークラブ、中島学童専用野球場、和倉温泉運動公園多目的グラウンド、和倉温泉運動公園テニスコート、和倉温泉運動公園ヨットハーバー、能登島グラウンド、のと蘭ノ国、健康増進センターアスロン、県立鹿島少年自然の家、中能登町運動公園
祭事	青柏祭、石崎奉燈祭、七尾祇園祭、お熊甲祭、塩津かがり火恋祭、新宮納涼祭、六保納涼祭、能登島向田の火祭、虫送り、鵜祭り、左義長、起船、石動山開山祭、不動滝の滝開き、オケラ餅神事、三番叟、鎌打ち神事、ばっこ祭り、あだけ祭り、星祭り
食	祭りごっつぉ、ながまし、大豆飴、崎山いちご、能登野菜、茶碗豆腐、もずく、イイダコ、能登なまこ、能登ふぐ、能登かき、かぶら寿し、巻鰤、すし王国能登七尾、鱈、カラー野菜、どぶろく
イベント	七尾港まつり、モントレージャズフェスティバル in 能登、七尾城祭り、能登よさこい祭り、和倉温泉花火、花嫁のれん展、能登和倉万葉の里マラソン、のとじま手まつり、能登島ロードレース、なかのと桜まつり、石動山秋のつどい、中能登町祭「織姫夏ものがたり」、中能登トレジャートレイルラン、七尾湾能登牡蠣祭、雨の宮古墳まつり、どぶろく祭り

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

宿泊施設 地域	旅館		ホテル		簡易宿所		会社・団体の宿泊所		合　計	
	軒数	収容人員	軒数	収容人員	軒数	収容人員	軒数	収容人員	軒数	収容人員
七尾市										
和倉温泉	23	5,814	3	272	8	376	0	0	34	6,462
旧能登島町	3	95	1	16	32	666	0	0	36	777
その他	7	264	6	433	28	494	0	0	41	1,191
計	33	6,173	10	721	68	1,536	0	0	111	8,430
中能登町										
中能登町	0	0	0	0	8	239	0	0	8	239
総　計										
七尾市・中能登町	35	6,173	10	721	76	1,775	0	0	119	8,669

統計からみた石川県の観光　令和５年より（令和５年10月１日現在）

令和5年10月1日現在で、七尾市内の宿泊施設は合計で111軒・収容人員8,430人となっており、中能登町の宿泊施設は合計で8軒・収容人員239人となっている。

七 尾 市　軒　数：105軒　（令和4年）→　111軒　（令和5年）6軒増
　　収容人数：9,000人（令和4年）→　8,430人（令和5年）570人減
中能登町　軒　数：8軒　（令和4年）→　8軒　（令和5年）増減無し
　　収容人員：239人　（令和4年）→　239人　（令和5年）増減無し

〔七尾市・中能登町　宿泊施設総数の比較（Ｒ元-Ｒ５）〕

年 地域	令和元年 軒数／ 収容人数	令和２年 軒数／ 収容人数	令和３年 軒数／ 収容人数	令和４年 軒数／ 収容人数	令和５年 軒数／ 収容人数	増減 軒数／収容人数	施設数・収容力・施設規模等
和倉温泉	30／7,017	30／7,007	33／7,078	33／7,006	34／6,462	1／△544	平成元年と比較すると、施設数は増加しているが収容人数減少。 高付加価値を高め、部屋数を減少している傾向
能登島	30／833	31／848	35／861	36／819	36／777	0／△42	
その他	22／929	24／964	33／1,087	36／1,175	41／1,191	5／16	
中能登町	4／219	6／228	8／231	8／239	8／239	0／0	
総計	86／8,998	91／9,047	109／9,257	113／9,239	119／8,669	6／△570	

統計からみた石川県の観光　令和５年より（令和５年10月１日現在）

【利便性：区域までの交通、域内交通】

１．鉄道（鉄路）

鉄道については、平成27年3月の北陸新幹線金沢開業により、首都圏からのアクセスが飛躍的に改善された。一方で、令和6年3月16日において、もう一つの開業である北陸新幹線金沢-敦賀開業では移動時間短縮の効果はあるが、敦賀駅・金沢駅での乗り換え問題が生じている。これまで和倉温泉と関西を行き来する際、これまで特急１本で移動できたが、乗り換えによる利便性の低下が懸念されることから、関西圏方面へのプロモーション活動を強化していく必要がある。

当エリアにはＪＲ七尾線観光列車「花嫁のれん」、のと鉄道観光列車「のと里山里海号」の２つの観光列車が運行されていることは大きな魅力となっている。

（１）東京方面から　北陸新幹線（金沢駅下車）、七尾線に乗り換え　約3時間30～50分
（２）名古屋方面から　東海道新幹線（米原駅下車）、特急「しらさぎ」（敦賀駅下車→北陸新幹線乗り換え）、北陸新幹線（金沢駅下車）、七尾線に乗り換え　約4時間20分
（３）大阪方面から　特急サンダーバード（敦賀駅下車→北陸新幹線乗り換え）、北陸新幹線（金沢駅下車）、七尾線に乗り換え　約４時間

２．飛行機（空路）

小松空港（「訪日誘客支援空港／国交省認定」）については、国内定期４路線（羽田・新千歳・福岡・那覇）に加え、国際定期路線が４路線（台北・上海・ソウル・香港）が就航している。

・小松-台北便（エバー空港）　　運行再開〔R5.04.01〕
・小松-台北便（タイガーエア台湾）運行再開〔R5.07.02〕
・小松-上海便（中国東方空港）　運行再開〔R5.12.17〕
・小松-ソウル便（大韓航空）　　運行再開〔R5.12.28〕
・小松-香港便（香港エクスプレス）運行再開〔R6.04.24〕

１月１日の能登半島地震により、滑走路数カ所に亀裂が入り旅客便の運行が停止したが、１月 27 日から１日１往復の臨時便が運航された。

現在は、ＡＮＡの羽田便が１日２往復で運航され、国内外から幅広く集客できる環境が復旧されている。

（１）羽田空港　⇔　のと里山空港
　　のと里山空港から車両で約４０～５０分
（２）羽田空港　⇔　小松空港
　　小松空港から車両で約１時間３０分～４０分
（３）羽田空港　⇔　富山きときと空港
　　富山きときと空港から車両で約１時間～１５分

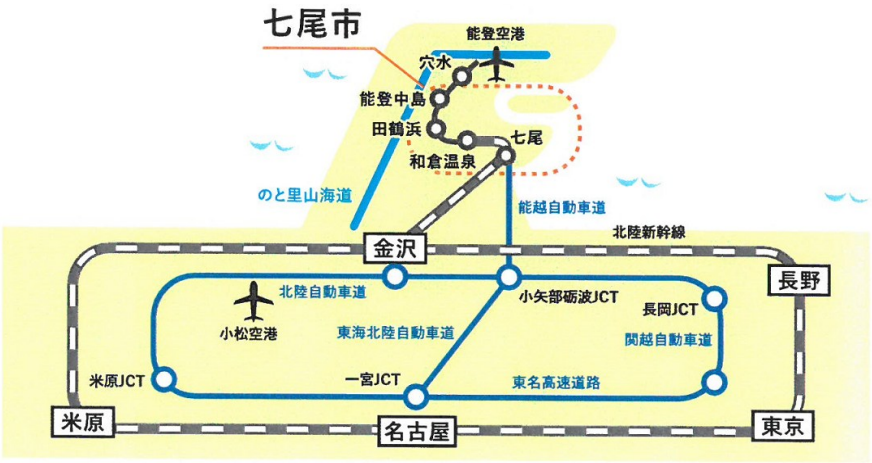
３．自動車（陸路）

道路については、北陸新幹線金沢開業に合わせて開通した能登地域と三大都市圏を結ぶ「能越自動車道七尾氷見道路」と平成 25 年 3 月に無料化された金沢と能登を結ぶ「のと里山海道」などの道路網が充実している。

（１）東京方面から　　関越自動車道（若しくは中央自動車道、長野自動車道、上信越自動車道）、
　　⇒北陸自動車道　⇒　能越自動車経由　約 6 時間

（２）名古屋方面から　　名神自動車道　⇒　東海北陸自動車道　⇒　能越自動車道経由
　　約 3 時間 15～30 分
（３）大阪方面から　　名神自動車道　⇒　北陸自動車道　⇒　のと里山海道経由
　　約 5 時間
（４）富山県高岡方面から　わくライナー（高岡⇔和倉温泉[特急バス]）　約 1 時間 10 分

〔アクセス図〕



【外国人観光客への対応】

コロナ禍前の和倉温泉の年間の外国人観光客の宿泊者数は約 2.8 万人(令和元年)であり、石川県に来訪している外国人宿泊者数は約 76 万人(令和元年)であり、4%に満たない現状となっている。

令和７年３月２８日に観光庁が公表した令和６年宿泊旅行統計（速報値）によると、石川県の日本人と外国人の延べ宿泊者数は 1,186 万 7,430 人、令和５年比で 36.0%増となり、都道府県別で全国トップの伸び率となった。

宿泊者のうち外国人は 227 万 9,450 人で、令和５年比 2.21 倍、令和元年比 2.31 倍といずれも全国最高の増加率となっている。

北陸新幹線の延伸、円安を背景とした追い風に、多くの国内・訪日客が石川を訪れたこととなる。

当ＤＭＯエリアでの活動については令和６年度において、観光庁のＤＭＯ体制整備事業を活用し、外部専門人材の登用により、データ及び入手可能なデータを基に現状を分析し、インバウンドの趣味・嗜好に基づく観光コンテンツの検討を図り、能登半島地震からの観光復興に向けたインバウンドの誘客・情報発信及びプロモーションの展開を総合的に取り組んでいく行動指針の概要版を策定。

また、能登半島地震等からの復興と歩調を合わせた情報発信事業として、地震の影響による観光需要・経済活動の回復や風評被害の払拭等を図るため、正確な情報発信や被災地の観光復興・北陸地域全体の誘客に資するプロモーションを実施した。

具体的には、海外メディアを能登半島に招請し、能登半島の現状や未来に向けた取組等を紹介する現地取材を通じて、サステナブルを意識した情報を発信するとともに、旅行目的地としての能登半島の認知拡大を図ったところである。

しかしながら、当ＤＭＯエリアにおいては能登半島地震の影響もある中、観光客が戻ってくるまではデータの更新は難しいこととなり、インバウンドについては様子を見ていく必要がある。

同時に今後の誘客戦略については、石川県のデータダッシュボードや観光庁などの個票データを活用しながら、具体的な誘客の手法を決めていく必要がある。

３．各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
観光入込客数	基本的な観光指標とし、観光消費額の算定、経済波及効果の分析、各観光施設の入込客数の把握及び分析	観光施設等への聞き取り及び観光案内所問い合わせデータ等（DMO）
延べ宿泊者数 (外国人延べ宿泊者数)	観光消費額の算定、経済波及効果の分析、各宿泊施設の宿泊者数の把握及び分析	各観光協会への聞き取り及び旅館組合提供データ等(DMO)
旅行消費額	観光消費の実態や経済への波及効果を把握	旅行者向けのアンケート調査(DMO)、各観光協会への聞き取り及び各種統計データの活用
来訪者満足度	観光客の旅行に関する実態・満足度、改善点などの把握	冬の満足度アップキャンペーン(DMO) 観光に関するアンケート調査(DMO)
リピーター率	観光客の旅行に関する実態・満足度、改善点などの把握	冬の満足度アップキャンペーン(DMO) 観光に関するアンケート調査(DMO)
ＷＥＢサイトのアクセス状況	観光客の関心度や傾向を通して、施策の効果等などの把握	和倉温泉お祭り会館サイト閲覧数(DMO) ななお・なかのと観光 Navi 閲覧数(DMO) すし王国能登七尾サイト閲覧数(DMO)
住民満足度	観光振興に対する地域住民の理解度を測るため	冬の満足度アップキャンペーン(DMO) 観光に関するアンケート調査(DMO)

４．戦略

（１）地域における観光を取り巻く背景

※地域経済、社会等の状況を踏まえた観光地域づくりの背景

七尾市・中能登町エリアでは、少子高齢化の進展、人口減少、中山間地域の荒廃、空家・空地の増加など、数多くの新たな課題への対応が求められている中、のと里山空港の開港、北陸新幹線県内全線開業(敦賀延伸)、のと里山海道の無料化、能越自動車道の延伸、小松–台北便（エバー空港）などの国際便の運行が再開され、広域交通網の充実により、拠点性は飛躍的に高まっている。

また、日本で初めて世界農業遺産に認定された「能登の里山里海」、ユネスコ無形文化遺産に登録された「青柏祭の曳山行事」など当エリアの魅力が世界から評価されているところである。

新型コロナウイルス感染症についても感染症法上の位置づけが５類へ移行されたことに伴い、全国的に人々の動きも活発化し、インバウンドの来日も高まってきている中、能登半島地震の影響により、旅館（宿泊施設）・商店・家屋の建物施設の損壊、道路・上下水道などのインフラ設備に甚大な被害が生じ、能登半島全体が壊滅的な被害を受けてしまった。

インフラの復旧、公費解体、応急仮設住宅・仮設商店街の整備、一部宿泊施設の営業再開、護岸復旧工事などが進むにつれて、交通機関や観光施設などが営業を再開する中、短期の戦略として、関係機関と連携を図りながら商談会やプロモーション活動を継続的に行い、ＳＮＳ・出向宣伝及びラッピングバスの導入など、「今行ける能登」での正しく正確な復旧に関する情報の発信を行った。

また、県・県観光連盟などと連携し、修学旅行のほかに旅行会社・企業などへの復興ツアーへの活用及び能登半島地震の教訓・防災への学び・能登の観光復活を目的とした「震災学習プログラム」の造成を行ってきている。

引き続き能登半島地震からの観光地としての機能をとりもどしていく活動を行うとともに、復旧・復興を見据えての地域経済の活性化の再生、発展に向けての地域観光復活への活動を推進していくものとする。

様式１

（２）地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	**強み（Strengths）** **・自地域で積極的に活用できる強みは何か？** ①年間を通じて、祭事・イベントを楽しめる。 ②自然、歴史、まちなみ、文化、伝統、工芸、食など、他の地域と比較し優位性ある観光素材がある。これらは、欧米豪市場を中心に浸透するウエルネスツーリズム、サステイナブルツーリズム、レスポンシブルツーリズム、アドベンチャーツーリズムに相応しいコンテンツとなる。 ③当エリアには、日本を代表するお祭りが年間を通じて催行され、非日常観を楽しめる。 ④体験を含め、歩いて町並みを観光できる。 ⑤開湯 1200 年の歴史を誇り、能登半島最大の宿泊拠点である和倉温泉がある。 ⑥教育旅行やスポーツ合宿滞在型交流が盛ん。 ⑦コミュニティバスやレンタサイクルの交通手段がある。 ⑧ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）の取り組みの推進。（能登ＳＤＧｓ市民大学など）	**弱み（Weaknesses）** **・自地域で改善を必要とする弱みは何か？** ①「七尾市」「中能登町」の知名度の低さ ②中山間地域等における脆弱な二次交通 ③和倉温泉入込客数の伸び悩み ④滞在時間の延長 （泊食分離・ナイト観光の充実） ⑤外国人受け入れ環境整備の遅れ ⑥眠っている観光素材を活かしきれていない。 （観光素材の掘り起こし、磨き上げ） ⑦観光商品のプロモーション不足 ⑧観光ボランティアガイドの減少（高齢化） ⑨観光産業・時代を担う観光人材の人手不足 ⑩季節によって観光客数に変動があり、特に冬場における入込客数の減少が大きい。 ⑪北陸と言えば、冬期間積雪があると思われている。（実際はさほど積もらない）
外部環境	機会（Opportunity） ・自地域にとって追い風となる要素は何か？ ①能登半島に広がる「能登の里山里海」が日本で初めて世界農業遺産に認定。(H23.06) ②青柏祭の曳山行事が、全国３２件の「山・鉾・屋台行事」とともに、ユネスコの無形文化遺産に登録された。 （H28.12／石川県で唯一） ③北陸新幹線県内全線開業や能越自動車道七尾氷見道路の全線開通により、首都圏などからの所要時間が大幅に短縮され、利便性が向上 ④北陸新幹線金沢開業効果により、首都圏だけでなく、東北地方からの観光客も誘客可能。 ⑤観光列車「花嫁のれん」「のと里山里海号」の運行（観光列車が２つある） ⑥全国的な城ブーム ⑦移住定住思考の高まり ⑧2025(R07)日本国際博覧会(大阪・関西万博)	**脅威（Threat）** **・自地域にとって逆風となる要素は何か？** ①少子高齢化に歯止めがかからない。 （地域の祭事・イベントの維持や衰退） ②新型コロナウイルス流行の不安 ③地域間競争の激化 ④多様化する情報発信ツール ⑤北陸新幹線敦賀延伸による乗り換えの影響 ⑥北陸新幹線敦賀延伸による特急の廃止 ⑦和倉温泉駅の無人化 ⑧旅行ニーズの多様化 ⑨能登半島地震の甚大な被害 ⑩地震による移住定住思考の停滞

※上記に加え、ＰＥＳＴ分析等の他のマーケティング分析手法を用いて分析を行っている場合は、その内容を記入（様式自由）。

様式１

（３）ターゲット

〇第１ターゲット層

※ターゲット層については、地域だけでなく、国・地域・世代・誘客のテーマ等の顧客の属性による設定が考えられる。

三大都市圏（首都圏・関西圏・中京圏）

〇選定の理由

※４．戦略（１）・（２）の分析を踏まえたターゲット層の設定であることを説明すること。

石川県全体での令和５年の県外からの観光入り込み客数は、首都圏が 3,659 千人、関西圏が 2,197 千人、中京圏が 1,578 千人となり、三大都市圏(首都圏・関西圏・中京圏)をターゲットとしている。令和５年度の和倉温泉浴客動態調査(組合加盟旅館)からは、関東(北関東含む)１位、石川県２位、関西３位、中部４位、富山県５位、福井県６位、九州７位、東北８位となっている。

和倉温泉は、県内他温泉地と比較しても首都圏客の割合が高く、北陸新幹線金沢開業効果もあり、首都圏からの宿泊客が最も多く、従来からの関西圏・中京圏の人気も高い。県内客も非常に多く、地元型の温泉地であるといえる。

※令和６年度からは旅館の復旧を考慮して、県別の調査は未実施となる。

〔和倉温泉浴客動態調査(組合加盟旅館)　　単位：人

項目		H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
石川県	宿泊	169,444	155,337	128,126	124,987	172,308	115,963
	(内日帰り)	35,955	31,552	6,706	11,135	23,104	21,530
福井県	宿泊	17,593	15,865	8,563	7,537	18,035	12,949
	(内日帰り)	592	1,037	367	154	355	694
富山県	宿泊	71,070	62,118	28,171	24,078	46,632	37,542
	(内日帰り)	4,697	4,836	848	771	1,711	2,724
関西	宿泊	129,878	106,700	56,321	58,196	83,375	74,452
	(内日帰り)	506	377	91	78	594	541
中部	宿泊	104,111	104,021	50,958	54,745	88,001	69,693
	(内日帰り)	433	460	242	111	296	298
北関東	宿泊	41,002	34,183	14,657	15,099	27,804	24,716
	(内日帰り)	310	344	171	202	383	333
関東	宿泊	183,052	154,247	70,295	82,430	132,904	107,264
	(内日帰り)	420	961	48	338	260	333
中国	宿泊	12,290	11,119	3,807	4,514	8,402	7,891
	(内日帰り)	10	593	0	6	10	17
東北	宿泊	18,820	14,655	4,374	3,775	8,528	8,363
	(内日帰り)	155	26	13	6	17	15
九州	宿泊	19,327	16,866	4,994	4,255	8,966	8,672
	(内日帰り)	93	49	44	32	15	11
四国	宿泊	4,596	4,495	1,224	1,462	2,635	3,041
	(内日帰り)	0	4	0	0	4	1
北海道	宿泊	6,590	5,714	1,838	1,662	4,328	3,747
	(内日帰り)	5	5	0	2	2	4
外国人	宿泊	30,787	28,624	50	50	5,104	17,554
	(内日帰り)	18	29	0	0	0	27
合計	宿泊	808,560	713,944	373,378	382,790	607,022	491,874
	(内日帰り)	43,194	40,273	8,530	12,835	26,751	26,528

※令和６年１月～３月は災害復旧事業者・自治体応援職員・災害ボランティアの受入(宿泊)あり。

上記の一覧表には、受入者数の人数はカウントしていない。

様式１

〇取組方針
①新たな魅力ある商品の造成
　県と連携した三大都市圏などへの出向宣伝・プロモーション会議・商談会への参加を「入口」として、首都圏等エージェントに対して、当ＤＭＯ独自での、旅行商品のプロモーション活動を展開していく。地域内の各団体及び関係者と綿密に連携し、観光客の多様なニーズに対応した当エリア独自の体験型観光プログラムや着地型商品の造成・開発を行い、積極的に売り込んでいく。
　また、満足度調査などを分析し、分析結果に基づいてターゲットに訴求する観光コンテンツを磨き上げ、再来訪に繋げていく。
②ニッチなグループ客の獲得
　旅のスタイルや嗜好は多様化しており、季節ごとに訴求する素材を明示し、対象となるニッチグループに訴求内容をアジャストさせ、効率的にアピールできるあり方で、来訪の動機が生まれるようなアプロ―チの方法及び仕組みづくりを構築していく。
①　認知度の向上及び多様な情報発信
　県及びＪＲなどと連携したキャンペーンや大規模イベント等への出展において、能登半島地震からの短期の戦略として、「今行ける能登」での正しく正確な復旧に関する情報の発信を行った。

〇ターゲット層
　第１ターゲット［東アジア（特に台湾・中国・香港)］
　第２ターゲット［欧米（北欧・イギリス・フランス・アメリカ)］

〇選定の理由
　石川県の外国人宿泊者数は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う国の水際対策が徐々に緩められた令和４年と異なり、年間を通して入国制限がなかったため、全ての国・地域からの宿泊者が大幅に増加し、対前年比 1029.1%の 774 千人となった。
〔外国人宿泊者数の特徴〕
・東アジア(台湾、中国、香港、韓国)の割合が全国と比べて低い
　全国平均：約 51%、石川県：約 31%
・欧米豪の割合が高い
　全国平均：約 24%、石川県：約 45%

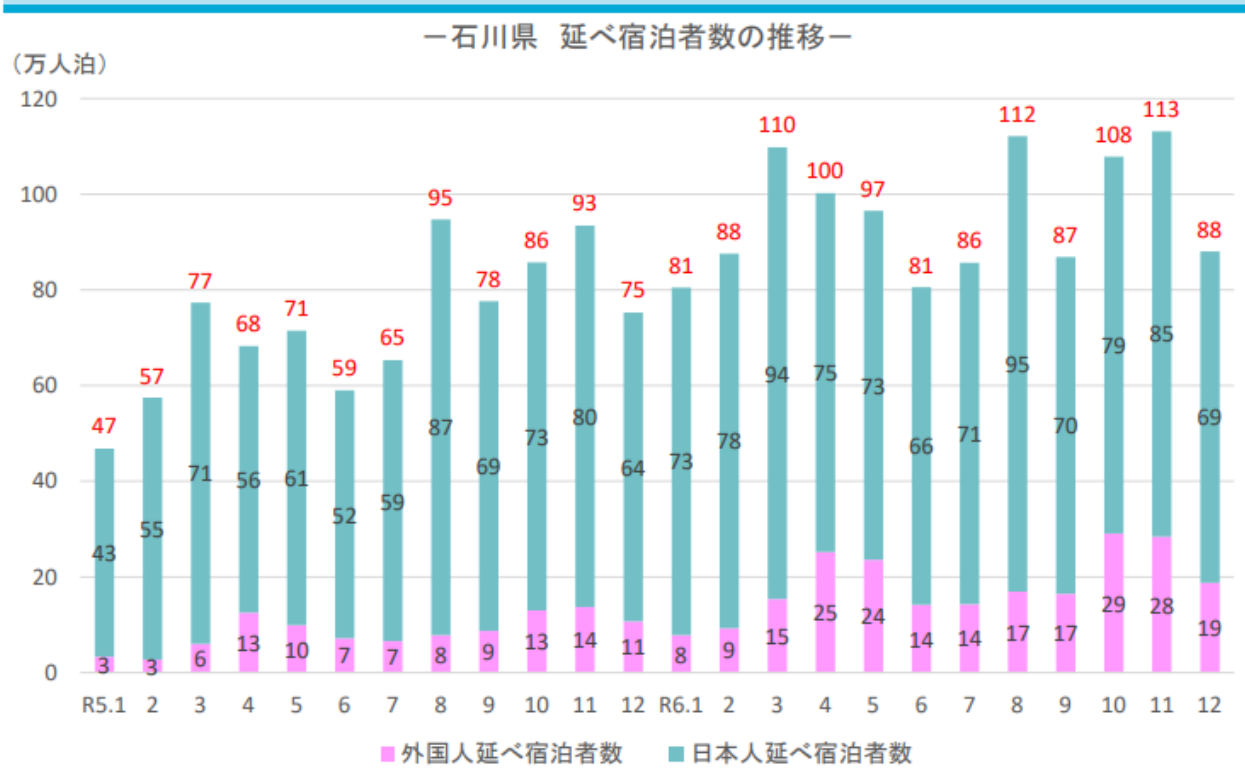
〔石川県の外国人宿泊者数〕　　単位：人

区　　分	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年
台湾	162,831	175,839	185,533	26,733	132	5,210	143,425
香港	58,942	66,654	68,913	8,172	73	5,395	37,442
中国	52,880	66,476	88,404	16,739	364	5,298	46,390
韓国	21,566	24,621	19,566	1,743	129	2,390	21,065
東南アジア	50,192	59,072	61,909	9,852	368	11,078	59,612
欧州	94,009	122,036	132,782	7,025	2,913	14,232	189,442
アメリカ	49,945	52,818	58,376	4,031	935	12,493	97,197
豪州	22,071	26,235	30,814	3,661	32	3,562	46,864
その他	93,983	90,111	120,973	19,288	2,927	15,548	132,520
合　計	606,419	683,862	767,270	97,244	7,873	75,206	773,957

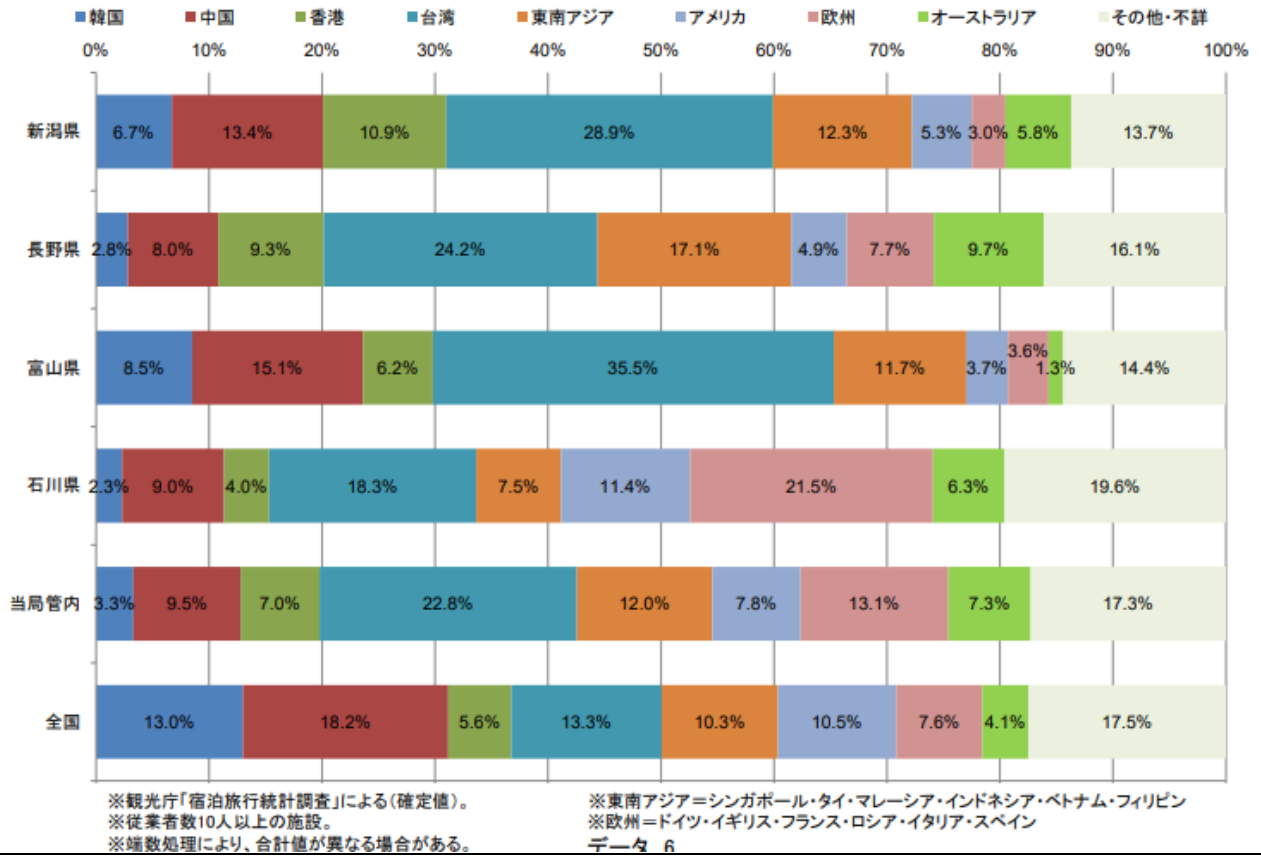
統計からみた石川県の観光(令和 5 年)

※「東南アジア」はインドネシア、マレーシア、シンガポール、タイの４か国

延べ宿泊者数



【参考】国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数構成比



※観光庁「宿泊旅行統計調査」による（確定値）。
※従業者数10人以上の施設。
※端数処理により、合計値が異なる場合がある。

※東南アジア＝シンガポール・タイ・マレーシア・インドネシア・ベトナム・フィリピン
※欧州＝ドイツ・イギリス・フランス・ロシア・イタリア・スペイン

データ 6

様式１

令和６年度の石川県のインバウンドは、２年連続で過去最多を更新し、特に兼六園への訪問者数は大幅に増加している。
増加の理由としては、北陸新幹線県内全線開業によるアクセスの向上、歴史的・文化的観光地の魅力、円安を背景にアジアだけでなく、連泊を好む傾向にあるとされるヨーロッパや北米からの客が増えたことが要因だと考えられる。
一方で能登半島地震の影響で、七尾市・中能登町を含む能登地域の観光客は減少しており、和倉温泉への影響が特に大きい。

１．第１ターゲット［東アジア（特に台湾・中国・香港)］
これまで、当ＤＭＯエリア内の宿泊拠点地である和倉温泉浴客者（国内客）の将来減少を埋めるべく、台湾・中国・香港からの誘客路を築き、大型旅館を含め、数多くの旅館を有する強みを活かし、受け入れてきたが、能登半島地震の影響により、和倉温泉各旅館は甚大な被害を受け、休業の状況が続いている。
和倉温泉の復興時期を見据え、これからの伸び率の高さと伸長の可能性がある東アジアをこれまで同様に第１ターゲットとして選定している。
また、小松−香港便の運行が令和 6 年 4 月 24 日に再開されたことも踏まえ、県と連携した東アジアからの誘客拡大を図る。

２．第２ターゲット［欧米（北欧・イギリス・フランス・アメリカ)］
当ＤＭＯエリア内宿泊拠点地である和倉温泉浴客者数での能登半島地震前の外国人観光客実態調査においては、イギリス・フランス・アメリカの浴客者数が増加傾向にある。
欧米の訪日旅行の嗜好は、自然体験型・文化体験型が人気であり、パッケージツアーなどで団体が訪れるようなエリアではなく、あまり知られていないところや、少し変わったところに行きたいという要望が比較的に多い。
このことから、多彩な観光資源をコンパクトに有している当エリアにおいて、自然・歴史・文化的な観光資源への関心が高い、欧米をターゲット層として開拓していく。
また、当エリアには自然・歴史文化・伝統工芸・温泉・寺院など非日常感を堪能できる観光素材があり、明日への活力に繋がる旅ができる場所として観光素材を磨きあげ、世界幸福度ランキングが高くウェルビーイングの世界最先端の先進地域である北欧について、トライアル的なターゲットとする。

インバウンドの誘客については、データ分析を行いながらしっかりとした根拠を基にターゲットを設定した上で、観光振興プランに盛り込んでいく方針である。
上記の第１・第２ターゲットについては、石川県のインバウンドの状況及びこれまでの取り組みなどを踏まえての仮のターゲット設定となる。
当分の間はデータの収集・分析を行い、観光地としての復旧・復興の進み具合を見ながら様子見していくこととなる。

様式１

〔外国人観光客実態調査票（和倉温泉旅館協同組合）〕　　単位：人

区　　分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
台湾		12,079	16,409	14,247	10	0	1,781	8,895
香港		7,111	7,687	7,241	10	0	1,459	2,459
中国		2,295	2,687	2,733	4	0	525	1,525
韓国		438	413	572	2	0	95	341
東南アジア	シンガポール	321	565	466	0	0	340	577
	タイ	173	62	224	2	4	81	96
	マレーシア	33	6	23	0	0	20	51
	インドネシア	15	46	76	0	0	9	13
欧州	イギリス	40	540	174	0	0	40	151
	ドイツ	15	59	40	3	0	13	91
	フランス	32	84	92	4	0	11	170
	オランダ	3	20	25	0	0	2	8
	イタリア	2	8	6	0	0	0	10
	スイス	23	28	54	6	0	7	40
	スペイン	0	0	5	0	0	1	16
	デンマーク	0	0	6	0	0	0	5
	スウェーデン	25	6	16	0	0	0	4
	ベルギー	4	0	8	0	0	15	6
アメリカ		636	524	890	3	0	240	1,698
豪州	オーストラリア	109	92	309	0	2	182	177
ニュージーランド		0	6	10	0	0	2	20
カナダ		204	167	273	0	0	62	323
ブラジル		41	0	4	0	0	2	7
アフリカ		4	0	41	0	0	3	4
フィリピン		2	179	77	0	0	20	43
ベトナム		0	0	231	2	0	0	0
インド		0	0	5	0	0	0	12
イスラエル		0	6	6	0	0	79	212
ロシア		0	30	17	0	0	14	0
その他		1,130	1,181	782	4	0	131	600
合　　計		24,735	30,805	28,653	50	6	5,134	17,554

※能登半島地震の影響により、１月１日から各旅館は営業停止（4月～12月までの集計）
※令和６年度においては、復旧を優先としているため、調査は行っていない。

様式１

〔各観光案内所　訪日外国人利用者（国籍別）〕　　単位：人

項目		七尾駅観光案内所				和倉温泉駅観光案内所			
		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度
アジア	韓国	16	7	6	7	26	1	8	25
	台湾	167	7	0	20	286	7	0	95
	中国	143	2	7	26	193	5	7	31
	香港	92	1	0	20	113	0	0	47
	タイ	8	3	0	2	3	2	0	2
	シンガポール	10	0	0	4	32	0	0	20
	ベトナム	23	5	8	0	4	0	0	4
	マレーシア	0	0	0	5	0	0	0	6
	インドネシア	0	0	0	7	0	0	1	6
	フィリピン	0	0	0	8	0	0	0	12
	インド	0	0	0	0	0	0	1	0
	マカオ	0	0	0	6	0	0	0	0
	パキスタン	0	0	0	5	0	0	0	0
	ミャンマー	0	0	3	10	0	0	0	1
	ネパール	0	0	0	0	0	0	0	2
	その他	10	29	24	37	29	0	8	23
中東	イスラエル	1	0	0	3	2	0	0	0
	トルコ	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他中東	0	0	0	0	0	0	0	6
欧州	イギリス	6	0	0	5	15	1	2	1
	フランス	24	0	0	0	52	3	0	4
	ドイツ	0	0	0	0	0	0	0	4
	イタリア	0	0	0	5	11	4	0	0
	スペイン	9	0	0	4	15	0	0	1
	スイス	13	0	0	2	12	0	0	0
	オーストリア	0	0	0	2	0	0	0	0
	フィンランド	0	0	0	0	0	0	0	2
	ポーランド	0	0	0	0	0	0	0	1
	ロシア	0	0	4	0	0	0	0	1
	その他	36	0	4	1	51	3	0	4
北米	アメリカ	25	2	2	12	63	1	4	26
	カナダ	16	0	0	0	25	0	0	4
	その他北米	0	0	0	0	0	0	0	2
アフリカ	エジプト	0	0	0	2	0	0	0	0
中南米	ブラジル	3	0	0	4	2	0	0	2
	アルゼンチン	0	0	0	0	0	0	0	0
	チリ	1	0	0	0	0	0	0	0
	その他	47	1	0	1	55	0	0	9
地域不明		49	7	2	13	28	0	5	59
合計		699	64	60	211	1,017	27	36	400

出所：(一社)ななお・なかのとＤＭＯ

様式１

項目		七尾駅観光案内所				和倉温泉駅観光案内所			
		令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
アジア	韓国	18	20			31	11		
	台湾	136	14			265	40		
	中国	54	13			78	40		
	香港	48	6			86	22		
	タイ	4	4			10	2		
	シンガポール	12	9			38	12		
	ベトナム	0	1			2	0		
	マレーシア	2	1			7	6		
	インドネシア	3	7			4	0		
	フィリピン	16	0			13	0		
	インド	0	4			0	0		
	マカオ	0	0			2	0		
	パキスタン	0	0			0	3		
	ミャンマー	3	0			0	1		
	ネパール	6	0			0	0		
	その他	116	19			397	26		
中東	イスラエル	0	0			9	0		
	トルコ	0	2			0	0		
	その他中東	0	0			3	1		
欧州	イギリス	3	5			21	0		
	フランス	42	3			31	16		
	ドイツ	7	12			29	4		
	イタリア	9	0			6	0		
	スペイン	4	5			7	0		
	スイス	12	0			13	5		
	オーストリア	0	0			8	4		
	フィンランド	0	0			1	0		
	ポーランド	5	0			4	0		
	ロシア	2	2			1	0		
	その他	28	3			18	10		
北米	アメリカ	42	25			51	11		
	カナダ	7	0			20	2		
	その他北米	3	0			8	0		
アフリカ	エジプト	0	0			4	0		
中南米	ブラジル	2	1			2	0		
	アルゼンチン	0	2			0	0		
	チリ	0	0			0	0		
	その他	3	3			3	0		
地域不明		58	14			347	14		
合計		645	175			1,519	230		

出所：(一社)ななお・なかのとＤＭＯ

様式１

〇取組方針
　令和６年度においては能登半島地震の影響により観光地として機能が失われ、インバウンドを受け入れてきた和倉温泉の各旅館は甚大な被害を受けたため、誘客力は大きく減少してしまった。
（組合加盟旅館 20 旅館中、5 旅館のみ営業再開）
　このような中、ＤＭＯ体制整備事業において、ＤＭＯが過去に購入したデータや独自調査及び観光庁を中心とした統計資料などを活用して、インバウンドにおけるデータ分析を実施。
・石川県全域（特に金沢）と七尾市におけるインバウンド客は傾向が異なる。
・石川県の来訪者の約５％が七尾市に訪問している。（コロナ前）
・石川県の来訪者は欧米豪が増加傾向ではあるが、七尾市の来訪者は東アジア中心となる。
　特に石川県金沢市に来訪しているインバウンド客との相関は見られない。
・石川県のＤＭＰは現状国内中心であり、インバウンドのデータは少ない。
・来訪者(国籍)によって、立ち寄り先の傾向は異なる。
・奥能登周遊のアメリカ人などをはじめとする欧米客はあまり七尾市に立ち寄っていない。
・アジアは中部国際空港、小松空港の利用が多い。欧米豪は羽田・成田中心。

＜全体＞
・石川県内に宿泊するインバウンドは 77.4 万人(令和５年)から 110.6 万人(令和６年)と増加し、当エリアの宿泊拠点地である和倉温泉では、能登半島地震の影響で宿泊者数は 8.8 万人(令和６年／災害復旧支援者含む)となり、ほぼインバンドの宿泊者は皆無に等しい状況となる。
　復旧・復興を見据えながら、段階的にまずは当エリアを含む能登全体の認知度を高めていかなければならない。
・能登半島全体の魅力で、当エリアにも誘客を図り、国、地域ごとの嗜好等に応じて、観光スポットや体験プログラム等の開発・情報を発信していく必要がある。
・開発する観光商品においては、金沢とのセット感をイメージさせる要素を含めさせ、誘客効果を浸透させる。
・多言語による Web ページ・パンフレットの充実、歴史・文化映像コンテンツなどを活用した当エリアの魅力を発信する。
・北陸新幹線を利用した「新ゴールデンルート」の定着を図り、ＪＲ等が販売する広域周遊パス(アーチパス)を活用した FIT 層の誘客を図る。
・外国人対応のノウハウを持つ通訳案内士を講師とし、外国人対応についてのガイド育成を行い、外国語対応ができる人材バンク登録を進めていく。
・公衆無線 LAN 環境整備、公衆トイレの洋式化、多言語案内看板の設置、キャッシュレス化の導入、観光案内所の機能強化などインバウンドがストレス無く訪れることのできる受入環境整備を行う。

＜台湾［旅行の志向］＞
・「日本食」への関心が高い
・「自然・景勝地」「ショッピング」「繁華街の街歩き」の関心が高い。
・地方では温泉やアウトレットモールでのショッピングが人気
・リピート率が高く、体験型観光を重視しているため、そこでしかできない新しい体験を求める傾向
・健康志向の高まりからマラソン、サイクリング、ゴルフ等のスポーツツアーも人気
＜中国［旅行の志向］＞
・ショッピング（化粧品、電気製品、菓子類、医薬品）
・日本食、伝統的な雰囲気、文化体験（温泉・旅館）
・日本独特の景観や自然（自然・桜・雪景色・火山）
＜香港［旅行の志向］＞
・日本食、温泉、ショッピング、大自然、街歩きといったテーマ性がある旅行を好む
・健康志向の高まりから、四季の自然を愛でながらウォーキングやハイキングを楽しむ
・余裕のあるスケジュールでゆっくり観光を楽しむ高価格・高品質のツアーの人気も高い。

＜欧州［旅行の志向］＞
・自然の美しさ（四季）や伝統文化が好まれ、日本での異文化体験が求められる。
・日本のポップカルチャー、食文化への関心も高い。
・自然環境、社会に配慮した持続可能な観光（サステナブル・ツーリズム）が重視されている。

＜アメリカ［旅行の志向］＞
・日本の「伝統文化・歴史、日本食」が訪日旅行の最も大きな要素
・「自分だけの旅」を求める富裕層が高級旅行市場を形成。
・食、文化など、体験型観光の人気が高い。
・自然環境社会に配慮した持続可能な観光（サステナブル・ツーリズム）が重視されている。

○伝統文化体験希望が増加し、ショッピング等も大きい。
冬場は温泉や歴史的な場所に興味があり、夏場は食・自然・アウトドア体験を好む嗜好からニーズにあった商品を開発し、情報発信を行いながら誘客の促進を図る。
○「サイクリングツアー」「世界農業遺産ガイドツアー」「祭ガイドツアー」など、具体的なニーズが顕在化しているテーマを探り、当エリアを含んだ能登のブランドイメージに沿ったテーマ訴求型誘客観光商品の造成を図り、誘客を促進する。
○ターゲットに対して、海外メディアや旅行会社向けの情報提供・セールスを行うウェビナーを開催し、情報提供・セールスを行うためのプレゼンテーションツールを作成し、継続した誘客を促進。
○令和3年10月に地球環境に配慮した持続可能な観光地を選ぶ国際認証機関GreenDestination「世界トップ100選」2021版に当エリアが選ばれたことを海外メディアや旅行会社に対して、積極的にＰＲを行っていく。
○北陸新幹線や旅行会社と連携したレインボールート（北陸経由ゴールデンルート）の活用

（４）観光地域づくりのコンセプト

①コンセプト	※他地域と明確に区別できる特徴・価値等を来訪者に伝える表現を簡潔に設定すること。 ― 能登　ど真ん中 ― 日本を代表する滞在型リゾートエリア
②コンセプトの考え方	※地域が目指すべき姿を明確にし、そのために地域ならではの産業、伝統、食、住、風習等やそこから導き出される区域の特徴（強み、価値）を、①コンセプトにどのように反映させているかについて他地域との差別化も踏まえて記入すること。 ※（１）～（３）のデータ分析の内容を踏まえて作成したコンセプトであることを説明すること。 年間約80万人が訪れる滞在拠点地・海のリゾート和倉温泉の海と癒しの魅力、能登島の自然とともにあるライフスタイルと能登の原風景の魅力、七尾市街地の北前船の歴史や花嫁のれんなどの婚礼文化、ユネスコ無形文化遺産に登録されている「青柏祭の曳山行事」など四季を通したお祭り、中能登地域の里山文化、そして全般に横たわる大陸文化の影響と能登国の古層資源、金沢文化に連なる前田家文化など、歴史・文化・自然・食などの観光資源の宝庫である。

	加えて平成 23 年 6 月、「能登の里山里海」が日本で初めて世界農業遺産に認定され、令和 3 年 10 月には、世界の持続可能観光地トップ 100 選に選ばれたことは当エリアにとっては優位性をもたらすものである。 観光を通じて交流・関係人口の創出を図り、SDGs への関心を高め、新たな価値の意識付けを行い、この素晴らしい地域において、単発・短期間滞在ではなく、非日常感を感じ、長期滞在しながら深く味わってもらえる・満足していただけるような滞在型リゾートエリア（ウェルネスツーリズム）を目指すものである。

５．関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有 ※頻度が分かるよう記入すること。	※戦略の共有方法について記入すること （例）部会、ワーキンググループ、ＨＰ、事業報告書の説明会 （例）ＤＭＯを中心として、地域の関連事業者を集めてコミュニーションの場を〇月に１回程度設けるとともに、関連事業者に対してのコンサルティング等を実施。 （例）活動の意義・内容・成果、ＫＰＩの達成状況や取組による地域経済・社会の変化の分析結果等を記載した事業報告書を作成し、地域の関係者に説明を行うとともに、ＨＰで公表。 観光関係事業者を中心に、多様な団体が事業活動に賛同(正会員：観光協会・宿泊業・行政・経済界・特産品(食)・交通事業者・金融・その他企業)し、構成されている法人で、ＤＭＯ会員の総会を年一回以上、業務執行などの意思決定を行う理事会を年 4 回以上、随時開催している。 また、各種事業を進める上で、地域関係者、外部有識者及び地域のキーマンとなる外部団体(個人)などを交えたヒアリング及び検討会などを実施し、事業を展開している。 さらに、主として市民向けに活動内容等を理解していただくために、不定期となるが、行政の広報及び新聞記事に掲載し、周知啓発を行っている。 観光戦略プランの策定にあたっては、上記関係団体が参画し、コンテンツ毎にグループワークなどをこれまで数回開催し、観光戦略プランを策定してきている。多方面からの意見を吸い上げ、継続した協力体制を維持しながら、能登半島地震からの復興を見据えた観光戦略プランの見直しを行い、関係者との戦略の共有及び地域連携を図っていく。 あわせて、活動の意義・内容・成果、ＫＰＩ達成状況などを広く周知するため、公式サイトで公表できるよう、サイトの機能を充実していく。
観光客に提供するサービスについて、維持･向上・評価する仕組みや体制の構築	（例）飲食店や宿泊施設をはじめとする地域が提供する観光サービスに係る品質保証制度を実施。

様式１

	ＤＭＯ公式サイト(ななお・なかのと観光 Navi)に会員団体や関連団体の主催する各種体験プログラム(観光スポット紹介等)やキャンペーンなどを掲載。 独自の観光に関するアンケート調査を継続し、満足度などを集計した分析結果を関係団体などへフィードバックしながら、観光客からの改善意見などの対応策も含めて情報共有を図る。 ボランティアガイド及び賛助会員、旅館従業員などを対象にした「インバウンド対応能力」「おもてなし研修」を継続して行い、当エリア内でのおもてなし力の向上及び人材育成を図る。
観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信･プロモーション	（例）ワンストップ窓口の実施、ＳＮＳを利用した効果的なプロモーションの実施。 前述のように、公式サイトに会員団体や関連団体の主催する各種体験プログラムやイベント・キャンペーンなどの観光情報を集約し、発信していくとともに、多様な関係者と連携した魅力ある観光商品の造成やイベントなどをプロデュースし、適切な時期を見極めながら、集中的にプロモーションを実施。 さらに、多様な旅行者ニーズの対応として、SNS での情報発信を随時行い、旅前などの旅行情報を知り得ることができる対応を実施。

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

様式１

６．ＫＰＩ（実績・目標）

※戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後３年間における明確な数値目標を記入すること。
※既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去３年間の実績も記入すること。

（１）必須ＫＰＩ

指標項目		2022（Ｒ４）年度	2023（Ｒ５）年度	2024（Ｒ６）年度	2025（Ｒ７）年度	2026（Ｒ８）年度	2027（Ｒ９）年度
●旅行消費額（百万円）	目標	11,363	16,204	―	―		
		(―)	(―)	(―)	(―)	(　)	(　)
	実績	15,145	12,600	1,122			
		(―)	(―)	(―)			
●延べ宿泊者数（千人）	目標	734	955	―	―		
		(15)	(25)	(―)	(―)	(　)	(　)
	実績	746	540	198			
		(5.1)	(18)	(0.4)			
●来訪者満足度（%）	目標	6.2	6.3	―	―		
		(―)	(―)	(―)	(―)	(　)	(　)
	実績	5.9	―	―			
		(―)	(―)	(―)			
●リピーター率（%）	目標	77	78	―	―		
		(―)	(―)	(―)	(―)	(　)	(　)
	実績	63.8	―	―			
		(―)	(―)	(―)			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

※ＫＰＩとして設定する項目や年次及び目標数値に関して、その検討のプロセスや考え方を項目ごとに出来る限り具体的に記入すること。

基幹的なＫＰＩ値については、行政及び和倉温泉旅館協同組合と調整し、七尾市が策定した「第２次七尾市総合計画」「七尾市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の各種指標の目標値を勘案し、必須ＫＰＩを設定した。（　）内は外国人に関する実績、目標数となる。

目標については、令和５年度までの目標値を設定していたため、当年度において観光振興プランの見直し及び新たな目標値の設定作業を行っていたが、令和６年１月１日の能登半島地震及び９月２１日～２３日の能登半島豪雨により見直し作業を中断したため、新たな目標数値は設定することができず、震災対応のため、実績数値を取得することができなかった。

【設定にあたっての考え方】

●旅行消費額
七尾市（和倉温泉消費額調べ〔和倉温泉旅館協同組合加入施設〕）＋中能登町調べ
※補足の旅行消費額などの調査として、「観光に関するアンケート」を実施している。
アンケート実施場所（和倉温泉お祭り会館・花嫁のれん館）

●延べ宿泊者数
七尾市（七尾市全域の宿泊施設での宿泊者数）＋中能登町調べ
※七尾市総合戦略のＫＰＩを基に設定。⇒　目標値：令和６年度　115 万人

●来訪者満足度
※来訪者に関する満足度調査が未実施の場合、「観光地の満足度調査」（https://www.mlit.go.jp/kankocho/shisaku/kankochi/manzokudochousa.html）を参照して実施し、例えば、毎年○%増などの目標を設定して記入すること。

2019 年(平成 30 年度)より開始している「和倉温泉満足度アップキャンペーン」による調査を基に設定。(和倉温泉各旅館の宿泊客からの意見を収集)
「和倉温泉満足度アップキャンペーン」において、「本地域滞在の総合満足度」に関する７段階評価のうち上位２つの「大変満足」「満足」のポイントを採用。毎年 0.1 ポイントの増加を目標として設定。
※補足の総合満足度などの調査として、「観光に関するアンケート」を実施している。
アンケート実施場所（和倉温泉お祭会館・花嫁のれん館）
※令和５・６年度の調査については、能登半島地震の影響により、調査中止。

●リピーター率
2019 年(平成 30 年度)より開始している「和倉温泉満足度アップキャンペーン」による調査を元に設定。(和倉温泉各旅館の宿泊客からの意見を収集)
「和倉温泉満足度アップキャンペーン」において、本地域への来訪回数が「２回目」以上と回答した観光客の割合を採用。毎年１ポイントの増加を目標として設定。
※令和５・６年度の調査については、能登半島地震の影響により、調査中止。

（２）その他の目標

指標項目		2022（Ｒ４）年度	2023（Ｒ５）年度	2024（Ｒ６）年度	2025（Ｒ７）年度	2026（Ｒ８）年度	2027（Ｒ９）年度
●観光入込客数（千人）	目標	2,628	2,978	—	—		
		(－)	(—)	(—)	(—)	(　)	(　)
	実績	3,193	2,773	1,054			
		(—)	(—)	(—)			
●滞在総合満足度（7 段階評価 P）	目標	6.2	6.3	—	—		
		(—)	(—)	(—)	(—)	(　)	(　)
	実績	5.7	5.9	—			
		(—)	(—)	(—)			
●和倉温泉連泊客数（人）（2 泊 3 日以上）	目標	26,000	30,000	—	—		
		(—)	(—)	(—)	(—)	(　)	(　)
	実績	32,811	37,479	21,378			
		(—)	(—)	(—)			
●和倉温泉お祭り会館閲覧数（件）	目標	94,500	96,000	—	—		
		(—)	(—)	(—)	(—)	(　)	(　)
	実績	54,634	59,226	21,334			
		(—)	(—)	(—)			
●	目標				—		
		(　)	(　)	(　)	(—)	(　)	(　)
	実績						
		(　)	(　)	(　)			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値
※各指標項目の単位を記入すること。

様式１

指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

※ＫＰＩとして設定する項目や年次及び目標数値に関して、その検討のプロセスや考え方を項目ごとに出来る限り具体的に記入すること。

滞在総合満足度については、広く観光客の意見を収集し課題整理を行っていくため、令和２年度から当法人が独自で行っている「観光に関するアンケート調査」を継続して行い、調査場所を拡大していく。（令和５年度現在の調査場所：和倉温泉お祭り会館・花嫁のれん館）

和倉温泉お祭り会館閲覧数については自己財源確保に向け、安定的な運営が図れるようお祭り会館の認知度を高めていくため、ＨＰのページビュー数（閲覧数）を目標値とする。

目標については、令和５年度までの目標値を設定していたため、当年度において観光振興プランの見直し及び新たな目標値の設定作業を行っていたが、令和６年１月１日の能登半島地震及び９月２１日～２３日の能登半島豪雨により見直し作業を中断したため、新たな目標数値は設定することができず、震災対応のため、実績の数値を十分に取得することができなかった。

【設定にあたっての考え方】

●観光入込客数

最も基本的な観光指標として目標値を設定。
第 2 次七尾市総合計画の目標値をもとに設定（令和 10 年度目標値：430 万人）
第 2 次中能登町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標値をもとに設定
（令和 6 年度目標値：30 万人）

●滞在総合満足度

「観光に関するアンケート調査」において、「滞在の総合満足度」に関する７段階評価のうち上位２つの「大変満足」「満足」のポイントを採用。
必須ＫＰＩの来訪者満足度の同じ目標値を設定。

●和倉温泉連泊客数

和倉温泉旅館協同組合が加盟旅館よりデータを収集している。（2 泊 3 日以上の連泊客数）
データを収集し始めた初年度（平成 28 年度）をベース年と考え、今後ベース年を上回れる取組を推進する上での目標値を設定。
〔参考／平成 28 年度：33,061 人、平成 29 年度：29,758 人〕
※令和６年度の連泊客数については、災害復旧事業者の人数も含む

●和倉温泉お祭り会館閲覧数

令和 2 年度は 6 月オープンで 4～5 月の閲覧数が各月 5,000 以下だったにも関わらず、オープン以降は 10,000 ビュー／回以上を示していたが、後半は冬場の閑散期、コロナ禍が加速したことにより、大きく閲覧数は減少した。令和 3 年度は観光施設という性格上、和倉温泉の宿泊客を中心とした観光客の増加につれて閲覧数は向上すると思われるが、極端な増加要因が無いため令和 2 年度後半の閲覧数を加算し、目標値（75,000 ビュー）を設定。令和 4・5 年度は令和 3 年度の落ち込み分をクリアした閲覧数を基準とし、観光施設として認知度が進むことを勘案して目標値を設定。

様式１

７．活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

※少なくとも今後３年間について、計画年度毎に（１）収入、（２）支出を記入すること。
※現に活動している法人にあっては、過去３年間の実績も記入すること。

（１）収入

年（年度）	総収入（円）	内訳（具体的に記入すること）（円）
2022（Ｒ４）年度【決算】	124,255,995	【国からの補助金】 14,995,950 【県・市・町からの補助金】 60,424,000 【指定管理料】 26,550,621 【会費】 1,095,000 【収益事業】 19,232,702 【雑収益】 1,957,722
2023（Ｒ５）年度【決算】	144,755,496	【国からの補助金】 11,010,000 【県・市・町からの補助金】 70,470,451 【指定管理料】 34,228,932 【会費】 1,105,000 【収益事業】 15,960,686 【雑収益】 11,980,427
2024（Ｒ６）年度【決算】	67,507,503	【国からの補助金】 3,807,854 【県・市・町からの補助金】 35,510,000 【指定管理料】 18,003,633 【会費】 0 【収益事業】 7,499,854 【雑収益】 2,686,162
2025（Ｒ７）年度【見込み】	166,791,000	【国からの補助金】 31,413,000 【県・市・町からの補助金】 68,650,000 【指定管理料】 23,093,000 【会費】 1,135,000 【収益事業】 40,000,000 【雑収益】 2,500,000
2026（Ｒ８）年度【見込み】	114,000,000	【国からの補助金】 0 【県・市・町からの補助金】 50,000,000 【指定管理料】 20,000,000 【会費】 1,500,000 【収益事業】 40,000,000 【雑収益】 2,500,000
2027（Ｒ９）年度【見込み】	114,000,000	【国からの補助金】 0 【県・市・町からの補助金】 50,000,000 【指定管理料】 20,000,000 【会費】 1,500,000 【収益事業】 40,000,000 【雑収益】 2,500,000

様式１

（２）支出

年（年度）	総支出（円）	内訳（具体的に記入すること）（円）
2022（Ｒ４）年度【決算】	115,305,099	【一般管理費等】 42,834,792 【観光案内所事業】 5,469,440 【能登ふるさと博事業】 2,562,000 【ウエルネスツーリズム推進事業】 8,108,507 【文化観光拠点施設推進事業】 2,525,300 【安心して訪日観光ができる観光事業】 8,289,038 【収益事業会計】 2,754,662 【収益事業会計(指定管理)】 42,761,360
2023（Ｒ５）年度【決算】	141,734,346	【一般管理費】 57,874,766 【観光案内所事業】 4,982,827 【能登ふるさと博事業】 4,564,782 【北陸ＤＣに向けた観光素材開発事業】 5,052,702 【観光地の再生・観光サービス業】 7,700,004 【整う能登のウエルネス事業】 7,928,785 【国民文化祭事業】 819,101 【インバウンド観光コンテンツ造成】 6,142,180 【収益事業会計】 3,776,555 【収益事業会計(指定管理)】 42,892,644
2024（Ｒ６）年度【決算】	66,755,733	【一般管理費】 35,872,579 【観光案内所事業】 2,819,444 【世界に誇るＤＭＯ体制整備事業】 3,587,974 【いしかわ文化観光コンテンツ造成】 1,320,000 【収益事業会計】 217,834 【収益事業会計(指定管理)】 22,937,902
2025（Ｒ７）年度【見込み】	133,266,110	【一般管理費】 42,643,000 【観光案内所事業】 5,809,000 【なりわい再建支援事業】 28,930,000 【世界に誇るＤＭＯ体制整備事業】 5,130,110 【いしかわ文化観光コンテンツ造成】 5,555,000 【観光ＤＸ事業(デジタルマップ)】 561,000 【観光再生支援事業】 11,688,000 【収益事業会計】 550,000 【収益事業会計(指定管理)】 32,400,000
2026（Ｒ８）年度【見込み】	99,330,000	【一般管理費】 40,000,000 【観光案内所事業】 5,800,000 【観光地域づくり事業】 10,000,000 【いしかわ文化観光コンテンツ造成】 8,030,000 【収益事業会計】 500,000 【収益事業会計(指定管理)】 35,000,000
2027（Ｒ９）年度【見込み】	89,200,000	【一般管理費】 40,000,000 【観光案内所事業】 5,800,000 【観光地域づくり事業】 10,000,000 【収益事業会計】 1,000,000 【収益事業会計(指定管理)】 32,400,000

（３）自律的･継続的な活動に向けた運営資金確保の取組･方針

区域を構成する地方公共団体における宿泊税の導入、着地型旅行商品の造成･販売等の取組･方針を記載

・安定的な運営が図られるよう、七尾市と中能登町からの継続した財政支援を要望していく。
・着地型旅行商品のプロモーション活動・ツアー企画の造成を積極的に実施するとともに、旅行会社への魅力ある新たな旅行商品の造成・販売及び誘客促進を行い、自主財源の確保に努める。
・自己財源(会費)の確保を図るため、各種研修会及びセミナーの開催、観光に関する情報のフィードバック、会員のメリットを強化し、新規会員数を増やしていく。
・和倉温泉お祭り会館など、適正な指定管理を行いながら、管理運営と一体となった自主事業を展開し、自主財源の確保に努める。
・収益事業（各種クーポン）の販売及び収益性が高いクーポンの検討・開発
・国内旅行業務取得に向けた人材の育成

８．観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

※設定対象区域の都道府県及び市町村が、本法人を当該都道府県・市町村における観光地域づくり法人として認める旨を含む意見を記入すること。

七尾市と中能登町は、一般社団法人ななお・なかのとＤＭＯを当エリアにおける地域連携ＤＭＯとして登録したいので、一般社団法人ななお・なかのとＤＭＯとともに申請します。

９．マネジメント・マーケティング対象区域が他の地域連携ＤＭＯ（県単位以外）や地域ＤＭＯと重複する場合の役割分担について（※重複しない場合は記載不要）

【他の地域連携ＤＭＯや地域ＤＭＯとの間で、重複区域に関する連携や役割分担等について協議を行った（行っている）か】

・エリアが重複している地域連携ＤＭＯ（公社）石川県観光連盟とは、連盟が実施する理事会、能登地域委員会に参加し、意見調整している。
・エリアが重複している地域連携ＤＭＯ「候補ＤＭＯ」（一社）能登半島広域観光協会とは、不定期ではあるが、情報交換会を行い、各取組及び将来を見据えた事業方針等の意見交換会を行っている。

【区域が重複する背景】

・(公社)石川県観光連盟は石川県内を区域とし、(一社）能登半島広域観光協会は能登地域を区域としている。七尾市・中能登町エリアについては、当法人の区域となり、当然のことながら当エリアで観光地域づくりを担っている。

【重複区域における、それぞれの DMO の役割分担について】

・広域での活動は(公社)石川県観光連盟が行い、11 市 8 町からなる 19 市町(能登地域・金沢地域・加賀地域)との連携・調整を進めている。
・能登地域全体での広域活動は(一社)能登半島広域観光協会が行い、4 市 5 町からなる 9 市町(能登地域)との連携・調整を進めている。

・当法人は、前述のとおり七尾市・中能登町エリアを中心に事業を展開しており、(公社)石川県観光連盟及び(一社)能登半島広域観光協会が当エリアを対象にする事業がある場合は、相互に連携・協力を行っている。

【前述の役割分担等によって、効率的、効果的な活動の遂行が期待できるか】
・互いに取り組む事業区域は把握しており、事業活動が重複しないように留意しながら、効率的に事業を展開することにより、石川県及び能登地域全域での相乗効果が期待できる。

１０．記入担当者連絡先

担当者氏名	遠藤　敦
担当部署名（役職）	事務局長（専務理事）
郵便番号	929-2121
所在地	石川県七尾市和倉町２部 13 番地１
電話番号（直通）	0767-62-0900
ＦＡＸ番号	0767-62-0901
Ｅ－ｍａｉｌ	a-endou@nn-dmo.or.jp

１１．関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県･市町村名	七尾市
担当者氏名	堀口　嘉久
担当部署名（役職）	交流推進課（課長）
郵便番号	926-8611
所在地	石川県七尾市袖ケ江町イ部 25 番地
電話番号（直通）	0767-53-8424
ＦＡＸ番号	0767-52-2812
Ｅ－ｍａｉｌ	y-horiguchi@city.nanao.lg.jp

都道府県･市町村名	中能登町
担当者氏名	岩田　正
担当部署名（役職）	企画情報課（課長）
郵便番号	929-1792
所在地	石川県鹿島郡中能登町末坂９部 46 番地
電話番号（直通）	0767-74-2806
ＦＡＸ番号	0767-74-1300
Ｅ－ｍａｉｌ	kikaku@town.nakanoto.ishikawa.jp

（登録）【登録区分】地域連携DMO（（一社）ななお・なかのとDMO）

様式2

記入日：　令和7年7月31日

基礎情報

【マネジメント・マーケティング対象とする区域】
　石川県　七尾市、中能登町
【設立時期】 平成29年11月28日
【設立経緯】
　区域に観光協会があるが、役割分担等をした上でDMO新設
【代表者】 理事長　谷﨑　裕
【マーケティング責任者（CMO）】 遠藤敦　専務理事（兼）事務局長
【財務責任者（CFO）】 土井昭美　事務職員
【職員数】 常勤8人（正職員5人、臨時3名）
【主な収入】
　市・町補助金　36百万円、収益事業　7．5百万円（6年度決算）
【総支出】
　事業費　30百万円、一般管理費　36百万円（6年度決算）
【連携する主な事業者】
　和倉温泉観光協会、能登島観光協会、中能登町観光協会、和倉温泉旅館協同組合、（一社）能登半島広域観光協会等

KPI（実績・目標）

※（　）内は外国人に関するもの。

項目		2022（R4）年	2023（R5）年	2024（R6）年	2025（R7）年	2026（R8）年	2027（R9）年
旅行消費額（百万円）	目標	11,363（　）	16,204（　）	—（　）	（　）	（　）	（　）
	実績	15,145（　）	12,600（　）	1,122（　）	—	—	—
延べ宿泊者数（千人）	目標	734（15）	955（25）	—（　）	（　）	（　）	（　）
	実績	746（5.1）	637（18）	198（0.4）	—	—	—
来訪者満足度（%）	目標	6.2（　）	6.3（　）	—（　）	（　）	（　）	（　）
	実績	5.9（　）	—（　）	—（　）	—	—	—
リピーター率（%）	目標	77（　）	78（　）	—（　）	（　）	（　）	（　）
	実績	63.8（　）	—（　）	—（　）	—	—	—

※来訪者満足度、リピーター率については、能登半島地震の影響により調査未実施

戦略

【主なターゲット】
［国内需要］・三大都市圏（首都・関西・中京圏）
［インバウンド］・東アジア、欧米
【ターゲットの誘客に向けた取組方針】
［国内需要］・新たな魅力ある商品の造成、ニッチなグループ客の獲得、多様な情報発信等
［インバウンド］・能登半島全体の魅力発信による誘客、多言語による情報発信等
［総合］・能登半島地震からの復興
【観光地域づくりのコンセプト】
―能登ど真ん中―日本を代表する滞在型リゾートエリア

具体的な取組

【観光資源の磨き上げ】
・地域周遊・長期滞在（専門家派遣事業）
・ラッピングバス導入
・復興、震災学習プログラム開発
・いしかわ文化観光コンテンツ造成事業
・地域観光新発見事業
【受入環境整備】
・観光案内所の管理運営
・のと里山里海ガイド講座参加
・緑のまちづくりモデル事業

【情報発信・プロモーション】
・日本観光ショーケース等出展
・能登半島地震等からの復興と歩調を合わせた情報発信
・SNSなどの媒体を活用した情報発信
・商談会、プロモーション会議への参加
【その他】
・観光振興プラン策定に係るヒアリング
・DMO体制整備事業
・各種クーポンの造成、販売
・「能登ふるさと博」市町等実施事業
・指定管理施設の管理運営